

ケアホームさくら荘 家庭のぬくもりそのままに・・

今年も夏の風物詩、流しそうめんを行いました！



流し そうめん



さくら荘の裏にある竹を使って、今年も会長・社長による手作りの流し台を作りました。そして、流し台をホールに設置すると一瞬にして、そこはどこかの料亭に変化したようでした(笑)。また、今年も入居者様の方々には、そうめん流しを楽しんで頂けたのではないかと思います。



社長による職員紹介

今回は、訪問看護ステーション翔のリハビリ主任、内野聖子さんのご紹介です。中学生の頃、従兄弟が脳腫瘍で手術しリハビリを受けたことで理学療法士の存在を知り、話を聞いているうちに自然と志していた。高校卒業後、リハビリ専門学校に入学したが、想像以上の勉強量と実習や先生の厳しい指導で何度も心が折れそうになりながらも無事に資格取得。病院での経験を積み、昨年9月に当社へ入社した。いつも明るく、分け隔てなく対等に接し、利用者様の声に耳を傾ける彼女。主任として、スタッフが仕事と家庭を両立できるよう、体調管理やお互いにカバーでき合う環境を大事にしているという。そんな彼女の休日は、愛犬の散歩やサーフィン！！都城出身だが、サーフィンの為に宮崎市内へ移住してきたぐらい大好きで、いつかはハワイやタイなど世界中へサーフィン旅行に行くことを夢見ているという。今後は、スタッフ間で職種を超えてなんでも相談し合える環境を作っていくことで連携を高め、利用者様やご家族の満足度の向上と信頼関係の構築を目標としている。持ち前の笑顔と明るさで、リハビリの出来る有料老人ホームとして利用者様の満足度アップに期待したい！！

内野 聖子さん



社是 「利他の心」

びじりにズームイン！！

2019年 9月号



ひ お う さ い

飛桜祭

令和元年9月21日(土) 17:30~19:00 ※雨天中止

今年の飛桜祭のコンセプトは「集大成」。

これはケアタウン飛鳥、さくら荘の合同で行える最後の飛桜祭になる可能性がある為、これまでに行ってきた飛桜祭の中でも人気のあったもの、盛り上がったものを中心に行えたらと言う思いで考えました。

去年人気のあった昭和をモチーフとした模擬店をはじめ、利用者様参加型、そしてご家族様にも参加して頂けるような祭を考えております。

利用者様、家族様、そしてスタッフが一緒になって楽しい時間を過ごせるよう準備を行っております。ぜひ時間を作って参加していただきと思います。



心より皆様のご参加お待ちしております。

※飛桜祭の名称について。
飛桜祭とは、ケアタウン飛鳥の(飛)とさくら荘の(桜)の文字を取って飛桜祭としています。



文責：飛桜祭実行委員長 波越 樹

有限会社 聖

住宅型有料老人ホーム ケアタウン飛鳥
住宅型有料老人ホーム ケアホームさくら荘
デイサービス陽だまり (通所介護)
訪問看護ステーション翔 (訪問看護)
ケアサポートセンターひじり (居宅介護)
ケアセンターさくら (訪問介護)

ケアセンターさくら便り

8月20日に**実地指導**を受けました。指導して頂けるありがたい気持ちと不備がないかという不安な気持ちとが混ざった気持ちのまま落ち着かない時間を過ごしましたが、特に何事もなく、書類に新たな記載事項を追加するように・・等の指導を頂きました。スタッフ一同、気持ちも新たに業務を行っていきたいと思っております。
実地指導とは、市の担当者が事業所へ出向き、適正な事業運営が行われているか確認するものです。

お洒落なシティ感覚 ケアタウン飛鳥



9月に開催される、飛桜祭に向けて利用者様と一緒に、うちわを作っています。皆様、大変楽しみにされております。出来上がったうちわを持って、お祭を楽しんでいただければと思います(*^^*)



【訪問看護ステーション翔からのお知らせ】

みなさんは台風の定義とは、わかりますか？調べてみると北西太平洋に存在する熱帯低気圧のうち最大風速が17m/S以上にまで発達したものを指すそうです。強風域や暴風域を伴って強い雨害を引き起こします。また、台風の名前は従来、米国が人名をつけていましたが2000年から、加盟国などが提案した名前を付けることになりました。大きな災害をもたらした台風などは、加盟国からの要請を受けてその名前を以後の台風に変更しないように変更することがあるそうです。年々、台風発生が早くなっています。日ごろから、防災意識を持ち、災害に備えていきましょう！！

流し
そうめん



今年も、そうめん流しを行いました。みなさん、「おいしい」とよく食べられていました。わんこそぼのような食べ方をされている方も・・・？(笑)



そうめん流し台、竹の器は、なんと社長の手作りです！



本当においしいわ。スルスルといくらでも食べられる。

スイカ割り！



毎年恒例、スイカ割り！さて、今年は誰が割ったのでしょうか？

ケアサポートセンターひじりからの介護保険便り

地震や台風等で避難警報や勧告が出るなどの、災害の多い昨今です。先日避難地支援の経験のある歯科医師の方の講演がありましたので、報告します。熊本地震で震災関連死に認定された方の死因の28%が肺炎や気管支炎などの呼吸器系の疾患が多かったとのことです。高齢者が全体の9割超を占めていたとのこと。避難生活では十分な水が確保できないので、歯みがきができない状況にあり、肺炎になりやすいのではないかと。その予防の為に、非常持ち出し袋に、家族分の歯磨きセットを準備しておきましょう。デンタルリンスや口腔ケアシート(ウェットシート)も入れておきましょうとの説明でした。歯みがきをした後、デンタルリンス等で口をゆすげば口の中をきれいにするとのことでした。普段から非常時用水や食料等のグッズは準備していますか。災害はいつやってくるかもわかりません。